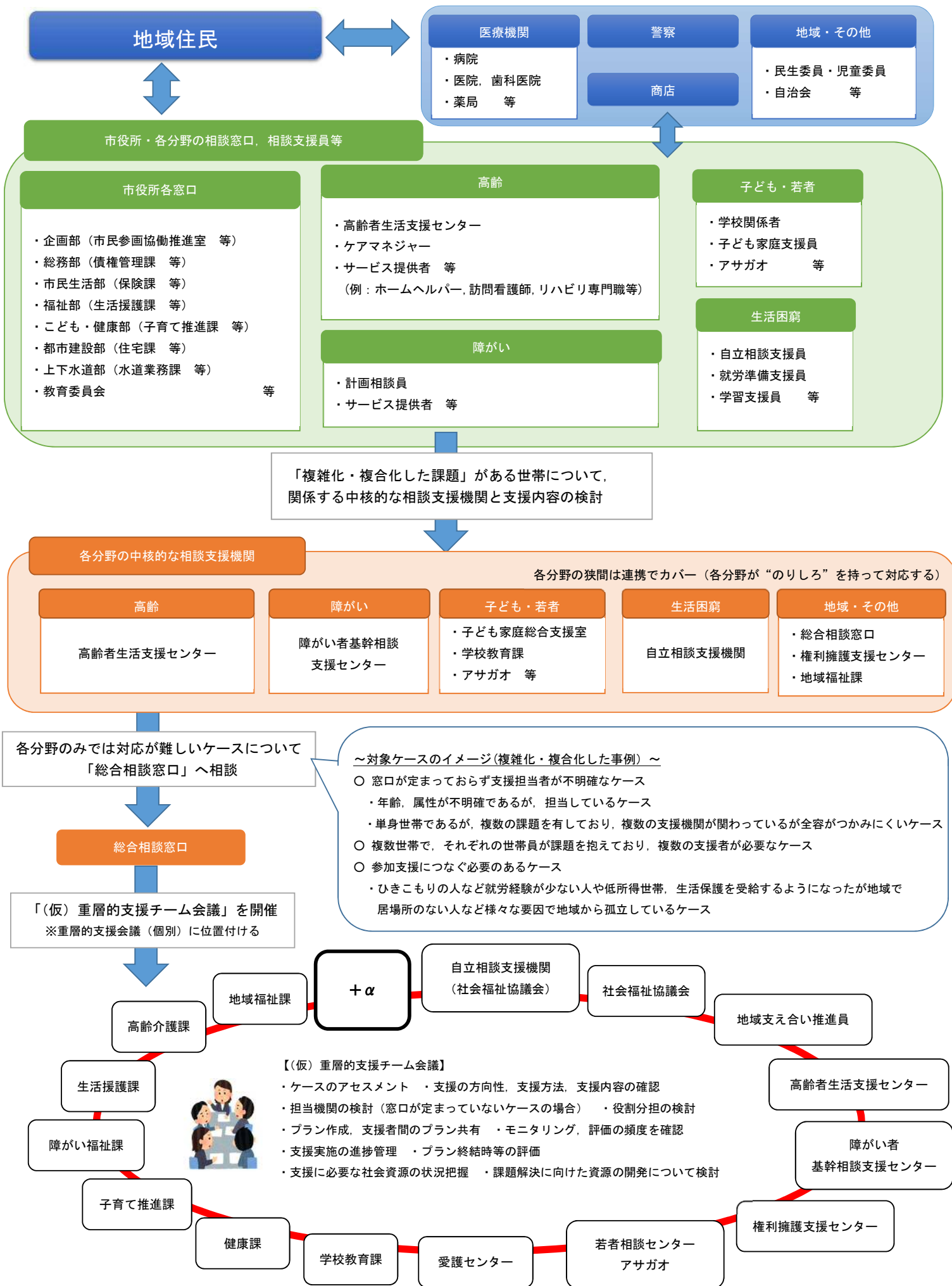


# 重層的支援体制整備事業～「(仮)重層的支援チーム会議」開催フロー～(2022. 3. 15 案)



～対象ケースのイメージ(複雑化・複合化した事例)～

- 窓口が定まっておらず支援担当者が不明確なケース
  - ・年齢、属性が不明確であるが、担当しているケース
  - ・単身世帯であるが、複数の課題を有しており、複数の支援機関が関わっているが全容がつかみにくいケース
- 複数世帯で、それぞれの世帯員が課題を抱えており、複数の支援者が必要なケース
- 参加支援につなぐ必要のあるケース
  - ・ひきこもりの人など就労経験が少ない人や低所得世帯、生活保護を受給するようになったが地域で居場所のない人など様々な要因で地域から孤立しているケース